

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020500		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	つどいの広場補助事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業(子育て) 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	平松 孝夫	担当者名	森中 江美
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	まちの子育て広場利用者					
	誰(何)を対象として	まちの子育て広場利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点をつくり、安心して子育てできる生活環境の確保を図る。					
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度	(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点を作り安心して子育てできる生活環境の確保を図るため、まちの子育てひろばを実施するための補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	子育てサロン参加延人数	人	4134	4390	5825	5000	
	子育てひろばの参加人数	人	6089	7121	8265	8000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.050	0.051	102	0.050	98	0.048	96	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	701,680	753,681	107	719,354	95	693,630	96	
	事業費	1,147,920	1,149,720	100	1,152,120	100	1,196,000	104	
	合計	1,849,600	1,903,401	103	1,871,474	98	1,889,630	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,849,600	1,903,401	103	1,871,474	98	1,889,630	101	
合計		1,849,600	1,903,401	103	1,871,474	98	1,889,630	101	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目		25年度	26年度	27年度	28年度
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子育てサロン参加延人数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5000	4500	90.0	4500	100.0	5000	111.1	
	実績	4134	4390	106.2	5825	132.7			
指標名2		子育てサロン開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	145	-	
	実績	143	145	101.4	145	100.0			

【効率性】

指標名1		参加者1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/子育てサロン参加延べ人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	230	250	108.7	250	100.0	239	95.6	
	実績	278	262	94.2	198	75.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	育児のストレスを解放し安心して子育てできる生活環境の確保という目的に即している。	4
	市民ニーズ	まちの子育て広場は母親の孤立感を防ぎ、母子の仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点となっている。	
有効性	成果目標(改善)達成度	利用参加人数が増加。	4
	市民サービス	育児ストレスや不安感などを抱える保護者が気軽に参加できるような身近な場所となっている。	
効率性	手段の最適性	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を与えるために、現状で適している。	4
	執行体制の効率性	子育て広場に保健師や栄養士という専門スタッフを派遣し、健康増進係と連携した取組みがあり母親が容易に相談できる場となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	子育ての負担感を抱えている親に対し、先の支援につなげること



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	子育て中の親子の仲間づくりや情報交換の場として安心して子育てできる環境を整備する。

配点	32.5
総合評価	26

(2) 29年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	子育て中の親が、気軽に集え、仲間づくりや情報交換ができる地域のひろばがあることで、安心して子育てできる生活環境の確保を図る。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持